

2003年度卒業論文題目一覧

その他のタイトル	Titel der Abschlussarbeiten 2003
雑誌名	独逸文學
巻	48
ページ	317-319
発行年	2004-03-19
URL	http://hdl.handle.net/10112/00018090

2003年度卒業論文題目一覧表

浅 森 友 哉	ゲルマン神話のオーディン
井 戸 智佳子	時代を映す魅力的な広告 —「車」広告におけるアピール方法の時代性—
今 西 謙 治	Raum und Zeit in Goethes „Faust II“
今 西 友紀子	シンデレラ物語の系譜
上 村 真 耶	天使のことは「詩的」であるか否か —ロシア・ フォルマリズムにおける詩語と天使のモノローグ—
内 やよい	ドイツの女性観の変遷 —原始時代から中世まで—
岡 崎 由 美	サンタクロースがもたらす「贈与」とは —サンタクロースの起源から考える—
岡 本 美 鈴	日本とドイツの“色”
萩 田 利 臣	共生するドイツと孤立する日本
古 賀 千 春	東西ドイツ統一後の外国人問題 —ドイツは移民国家となるのか—
小 段 玲 奈	ものづくりドイツのマイスター制度
小 林 佐和子	「コトバ」のチカラの可能性 —雑誌広告の巧みな広告表現を探る—
坂 口 純 子	娯楽・清潔の空間 —欧米風呂文化の原点—
塩 路 加 奈	目で読むグリムのメルヒェン —挿絵の変遷と受容—
塩 山 寛 子	掌編小説のカシュニッツ
杉 田 育 代	ブレヒトが目指した演劇
鈴 木 宏 胤	ドイツにおける持続可能性 —環境保護は経済を救うか—
田 中 敦 司	ドイツサッカーの歴史 —ドイツから読み解くサッカー—
辻 山 可奈子	ヨーロッパにおけるホテルサービス —ホスピタリティとサービスの日欧比較—

- 常田邦彦 ゲーテ『ファスト第一部』の考察
- 都出章太 グリム童話集について
—その中から見る暴力性や残虐性と現代社会—
- 東條祐子 ドイツの犬と日本の犬 —人と犬のより良い関係—
- 中島知子 『拾い子』に見るクライストの人間性
- 中嶋千尋 感情ことばからみた男女の心理
—ゲーテの「親和力」を例にして—
- 中野学 Witzの日独比較研究
- 橋本恵理 「楽」(がく) から「学」へ
—テキスト言語学の対象としての料理レシピ—
料理レシピの特徴と時代比較
- 幅野奈緒子 グリム童話『つぐみの髭の王様』について
- 林田明日加 『源氏物語』のドイツ語訳との比較 —有職故実・
和歌を通して、異文化理解について考える—
- 馬場千夏子 『朗読者』における戦争責任 —罪責論より—
- 菱川亜紀子 統一ドイツの心の壁とその背景
- 比名悠子 エーリヒ・ケストナー『飛ぶ教室』について
- 藤原弥生 第三帝国下の民衆
- 榎枝杏子 ドイツの飲料容器のリデュース・リユース
- 松丸源太郎 翻訳における慣用表現、比喩表現の分析
—川端康成の小説『山の音』に基づいて—
- 丸山玉穂 映画『ラン ローラ ラン』における人物設定
—会話分析的観点から—
- 宮地望美 ドイツと日本 —少子化と女性の結婚感—
- 村岡亜紀子 中世ドイツの古城 —12世紀から14世紀にかけて—
- 村松江美 日本、ドイツにおける女らしさ
- 薬師神藍子 道祖神とMatronen Stein
- 山岸紗織 19世紀末ウィーンの読書生活
- 山本有希子 中世ドイツと江戸期日本の比較による、縞模様の魅力の研究
- 若月やよい 認知言語学的に見た映画『ラン・ローラ・ラン』
—典型的登場人物をめぐる—

- 小川 梨 絵 バウハウスにみるモダン
齋藤 公 輔 1989年革命の素地
竹森 禎一郎 ドイツ語と日本語における外来語の比較
多田 知 司 ニーベルンゲンの歌 ―クリエムヒルトとクリエム
ヒルトを取り巻く騎士について―
- 中井 敏 寛 ドイツの国際協力
中川 佳 子 ドイツに学ぶ、オーストラリアの環境問題解決法
中島 知 香 日本人と欧米人のコミュニケーション・ギャップ
藪 田 朋 ドイツにおけるマンガ翻訳について
―ASTROBOYはどこまで鉄腕アトムたり得るの
か―
- 山田 詩 織 Die Huren als kulturelles Phänomen
横山 広 明 イラク問題にみる米欧（独）関係の変容、ドイツの
視点から
- 北脇 宏 一 „Die Leiden des jungen Werthers“ におけるGoethe
の思想
- 平山 郁 生 『グリム童話』と子ども
森 かおり Jugendsprache. Ihre strukturellen und funktionellen
Merkmale ― auf der Grundlage von Umfragen
unter deutschsprachigen Studenten―
- 塩原 晶 子 ヘルマン・ヘッセ『車輪の下』をユング心理学的に
見て
- 西野 由紀江 戦略として用いられる待遇表現の効果 ―ブレヒト
の戯曲『三文オペラ』の台詞を資料として―
- 菅谷 和 世 プレンターノとハイネのローレライにおける女性像
について
- 藤井 智恵美 ゲオルク・ビューヒナー『ヴォイツェク』
―市民階級の世界と貧困者階級の世界について―
- 藤田 洋 平 日本及びドイツの歴史教科書における戦争責任：そ
の歴史哲学的背景